

公益社団法人日本技術士会 CPD行事実施報告書

| | | |
|------|--|--------|
| 開始日時 | 平成28年7月18日(月) | 15時40分 |
| 終了日時 | 平成28年7月18日(月) | 16時50分 |
| 名称 | H28年度年次大会・特別講演会(第37回CPD) | |
| 主催者 | 公益社団法人日本技術士会 千葉県支部 | |
| 開催場所 | ホテルプラザ菜の花(千葉市中央区長洲1-8-1) | |
| 行事内容 | 特別講演会(CPD) テーマ:「最近の気象情報の進化とビジネスでの活用」 講師:安部大介氏 株式会社 ウェザーニューズ 執行役員 | |
| 参加人数 | 61名(内 招待者+企業 8名) | |

第37回CPDは平成28年度年次大会・特別講演会を実施した。

ウェザーニューズ社の紹介に始まり、最新の気象技術の変化、気象情報活用事例など興味ある内容で講演いただいた。

ウェザーニューズ社(WN社)の原点は「船乗りの命を守りたい」いざという時、人の役に立ちたいという想いは今も変わらず、全スタッフに受け継がれているという。

当時の気象技術では予測が難しかったこともあり、これがきっかけとなり気象の世界に進んだ。

気象庁が「みんなの气象台」に対して、WN社は「あなたの气象台」「あなたの情報交信台」単なる天気予報だけでなく「気象に対する対策情報」であるという違いがあることの説明があった。

気象予測に関する技術では常識にとられないインフラを仲間と一緒に創造し、新たな価値創造につながる「無」常識インフラを開発しているという。

活用事例では、千葉市との減災プロジェクトの取り組み、豪雨時の減災レポート、交通気象サービスでは航海フリートの最適化サービスなど興味深い話を伺うことができた。

